

# 2019年 日本歯内療法学会 (JEA) 研修会 (茨城)

日本歯内療法学会 (JEA) は、歯科保存臨床における歯内療法分野に特化した学会で全国の歯科大学教授や歯内療法に精通する開業医が多数所属しております。

日々の臨床で多くの先生が遭遇する歯内療法の疑問点への解決策を探るべく、今回の研修会を企画いたしましたので、ぜひともこの機会を見逃すことなく、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

後援：日立歯科医師会 会長 間宮高弘 実行委員長：杉田裕一

## 『歯内療法はボランティアなのか？患者に理解してもらうためにはどうしたら良いのか？』

### 講師



#### 辻本 恭久 Tujimoto Yasuhisa

1979年 日本大学松戸歯学部卒業  
 1983年 同大学大学院歯学研究科修了 (歯学博士)  
 1983年 同大学松戸歯学部歯内療法学講座 助手  
 1986年 同大学松戸歯学部歯内療法学講座 専任講師  
 1987~89年 米国フォーサイエンスデンタルセンター 客員研究員  
 1995~07年 松本歯科大学第二保存学講座教授 (非常勤)  
 2006年 日本大学松戸歯学部歯内療法学講座 助教授  
 2007年~日本大学松戸歯学部歯内療法学講座 准教授  
 2007年~松本歯科大学第二保存学講座 非常勤講師  
 2010年~日本大学松戸歯学部歯内療法学講座 診療教授  
 2012~17年 日本ウェルネス歯科衛生専門学校 校長  
 2018年~日本大学松戸歯学部先端歯科治療学講座 教授

歯内療法に関しての講演依頼を頂くのと、「講演内容は、一般開業医が日常診療で行う歯内療法の処所を再根管治療、感染根管処置を中心にお願いたします。」というのがほとんどですが、いつも思うのは処所というのは、基本的なことを行うことでは？と思います。すなわち、根管治療の基本である根管拡大形成・根管洗浄・根管充填を基本に則り正確に行うことではないかと思っております。しかし、この基本的なこと正確に行うために、現在は様々な器具・器械が存在しています。まずは診断です。なぜ再根管治療が必要になったのか？この原因が分からなければ何度根管治療を行っても治ってきません。デンタル撮影ではわからなかったものがCBCTでは分かるようになってきました。でも、CBCTで原因が分かっても、根管の中を手探り状態で治療しては治るものも治りません。そこで、マイクロスコープが必要となります。マイクロスコープがあっても、マイクロスコープ治

療用の器具がなければ、ただの見学になってしまいます。しかし、マイクロスコープにカメラを取り付ければ、その治療記録を患者さんにお見せして説明することができます。最新の器具・器械を持って、そこに技術が伴えば当然のことながら根管治療は上手くいく可能性は高いでしょう。でも、一体いくらお金を投資しなければいけないのでしょうか？「そんな面倒くさいから抜歯」「保険なんだからある程度の治療でいいや」「削ってかぶせて稼ごう」そんなふうに考えてしまいますよね。患者さんにまず様々な情報を提供し、根管治療まして再根管治療は難しいし成功率も高くないということを理解してもらわないといけません。今回の講演では、現在私たちが行っている治療システムと患者さんへの説明法などを解説させて頂き、保険での根管治療で上手くいっていないのは、どういうところかを理解して頂ければ処所がわかっていたのではないかと考えています。

## 『再根管治療の成功率を高めるために』

### 講師



#### 阿部 修 Abe Syu

2000年 東京歯科大学 卒業  
 2000年~ 医療法人社団 平和歯科医院勤務  
 2002年 東京歯科大学 大学院 (微生物学)  
 2006年 東京歯科大学 大学院修了 歯学博士  
 2006年~ 東京大学医科学研究所 幹細胞組織工医学研究部門 客員研究員 (~2008年)  
 2006年 医療法人社団 平和歯科医院開業  
 2006年 東京歯科大学非常勤講師  
 2016年~ 日本歯内療法学会国際交流委員会  
 2017年~ 関東歯内療法学会常任理事

再根管治療は、一般開業医においても日常的に頻度の高い治療ですが、その成功率は初回根管治療と比較して低いことが古くから示されています。特に本来の解剖学的根管形態が失われた症例においては、さらにその成功率が低下することが報告されていますが、私たちの日常臨床における再根管治療症例の多くがそうした症例であることから、いかに難しい治療であるのかということとを再認識する必要があります。接着されたコア材やガッタパーチャ、シーラー等の除去という、臨床的に難しい操作も多く、かつ成功率の低い再根管治療を成功に導くためには、どのような点に注意をすればよいのでしょうか。

症例から再根管治療の原因を検証し、研究によって示された理論的背景と共に、実際の臨床における注意点等について検討します。

### お申込み法

日時：4月14日 (日) 10:00~13:00 (受付9:40~)

会場：ホテル天地閣

〒317-0074 茨城県日立市幸町旭町2-6-13

<先着80名>

受講料：JEA会員・非会員問わず (受講料は当日承ります。)

歯科医師 ￥5,000 会場準備の都合上、事前にお申込み下さい。

DH/DA/学生/他 ￥3,000 事前登録締切 4月3日 (水)

参加受講申込書にご記入の上、下記までE-mail

またはFAXでお申込み下さい。

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

(一財) 口腔保健協会内 日本歯内療法学会事務局

TEL: 03-3947-8891

FAX: 03-3947-8341

E-mail: jea@kokuhoken.or.jp

JEAに入会ご希望の方は、受講料を無料といたします。

当日¥17,000 (入会金¥5,000初年度年会費¥12,000) と認印をご用意ください。

日本歯内療法学会 (JEA) 研修会 茨城 4月14日 (日) 参加受講申込書

下記ご記入のうえ、上記申込先にE-mailまたはFAXにてお申込み下さい。

フリガナ	医院所在地	〒
氏名	TEL	FAX
歯科医師 学生 DH DA その他	いずれかに○をおつけください。	
医院名		